

第一期:グローバルエコノミーと企業会計・ガバナンス(2005 年度後半) 第 1 回

投稿日時 2006-6-6 9:24:00 | トピック: MBA 公開講座

日 時 : 2005 年 12 月 16 日(金) 17:00 開講

テーマ : 地球経済と日本の金融政策

場 所 : 同志社大学寒梅館 2 階 213 教室

【第 1 部】

担当教員 : 同志社大学大学院ビジネス研究科教授 浜 矩子

概 要 :

原油価格が高騰する。アジアから驚異の高成長国が出現する。今日の状況は 1970 年代の石油危機当時のようにあり、戦後日本が国際舞台に踊り出た 1960 年代のようでもあります。しかし、かつてと今との間には決定的な違いが一つあります。それが経済のグローバル化です。この言葉の本質をつかむことなくして、今の時代を読むことは出来ません。この観点から世紀最初の 10 年の折り返し点を迎えた地球経済の回り方を多面的に考えてみましょう。

【第 2 部】

担当教員 : 同志社大学大学院ビジネス研究科教授 大久保 隆

概 要 :

日本経済の長期にわたるデフレ状態は、単なる景気循環的な現象というよりは、経済構造が大きく変化していることによる面が大きい。この構造変化は世界的な環境変化を踏まえて理解する必要があります。今回のデフレ下では、日本の金融市場がその機能を十分果たせず、政策対応は極めて異例なものとなっています。漸く回復の兆しが見えてきたといわれていますが、今後、政策対応は正常化の道を進むことができるのでしょうか。第二部では、第一部の考察を踏まえ、金融面から問題を捉えてみましょう。